

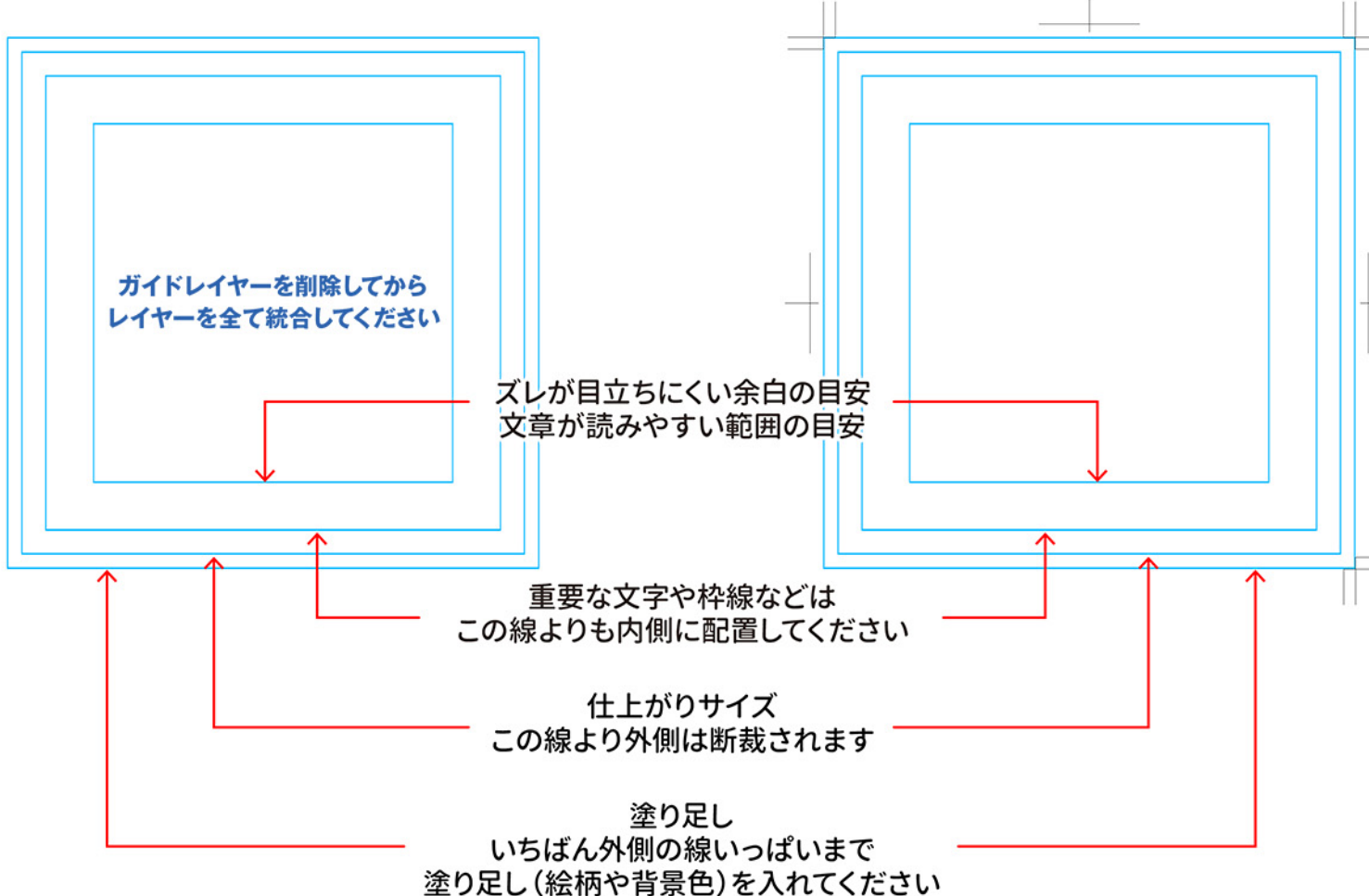


1 ガイド線について

**PSD 形式**

Photoshop
CLIP STUDIO PAINT
その他 PSD 形式データ対応ソフト

**AI 形式 (Illustrator ver.8 以上)**



ガイドレイヤーを削除してから
レイヤーを全て統合してください

ズレが目立ちにくい余白の目安
文章が読みやすい範囲の目安

重要な文字や枠線などは
この線よりも内側に配置してください

仕上がりサイズ
この線より外側は断裁されます

塗り足し
いちばん外側の線いっぱいまで
塗り足し (絵柄や背景色) を入れてください

2 塗り足しについて

フチなし印刷をご希望の場合は、必ず「塗り足し (上下左右に 3mm ずつ)」が必要となります。
「塗り足し」がないと、断裁の際に生じるズレにより紙の白場が出てしまいます。
また、塗り足しが 3mm 以下の場合も、紙の端に白場が出てしまう恐れがございますのでご注意ください。

塗り足しがある問題のないデータ





**塗り足し部分が白く
塗り足しがないデータ**





**塗り足し部分だけ
違う色がついているデータ**






※ --- 点線、— 青色線は
塗り足し・仕上がり位置の目印です。

3 文字切れ・枠切れについて

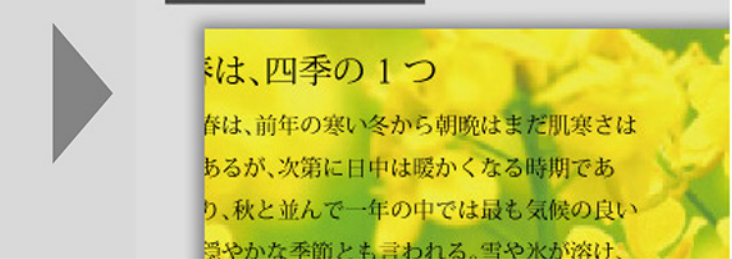
塗り足し部分の断裁の際にはズレが生じますので、切れてはいけない文字や画像、コマ割り線や飾り枠などの枠線は、仕上がり位置から 3mm から 5mm 以上内側に収まるように配置してください。

データ

この線が仕上がり位置



仕上がりイメージ




断裁位置 (仕上がり位置)

塗り足し 3mm


3mm

5mm

データ

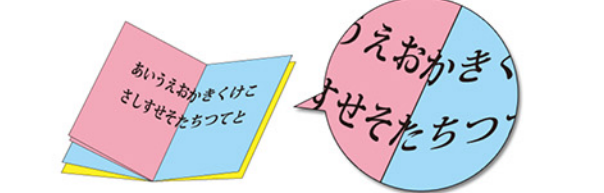


仕上がりイメージ

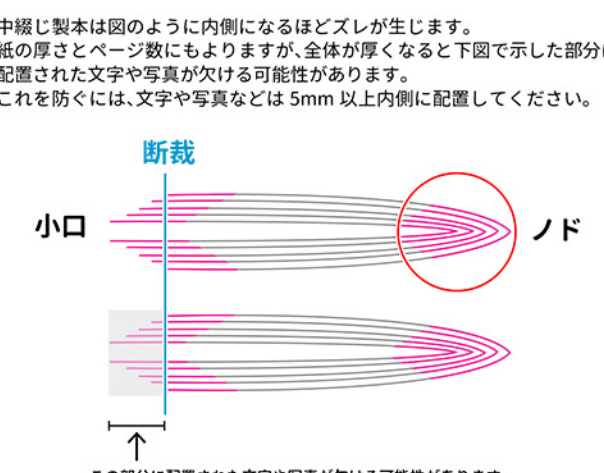


4 中綴じ冊子の注意点

中綴じ冊子はノド部分まで開ききることが可能なので、ノドアキ (ノドの余白) は不要です。
しかし、製本の際にどうしても若干のズレが生じますので、センター部分を細かな文字等がまたがるようなレイアウトの場合は、多少のズレが生じることも予めご了承いただいたうえでご入稿ください。



中綴じ製本は図のように内側になるほどズレが生じます。
紙の厚さとページ数にもよりますが、全体が厚くなると下図で示した部分に配置された文字や写真が欠ける可能性があります。
これを防ぐには、文字や写真などは 5mm 以上内側に配置してください。



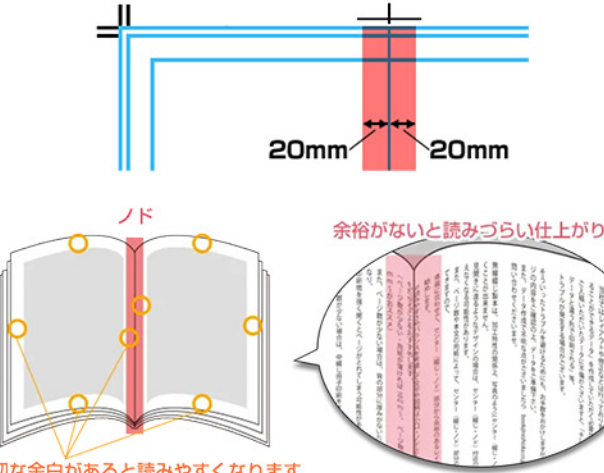
この部分に配置された文字や写真が欠ける可能性があります。

5 無線綴じ冊子の注意点

無線綴じはページを完全に開ききることが出来ないため、ノド付近文字は食い込んで見えなくなる・読みづらくなります。
見えないと困る文字や図はノドから 15mm 程余裕をもってレイアウトしたほうがバランスがよく、読みやすくなりますのでオススメです。

ご注意ください

- 表 2・表 3 とそれに隣り合う本文ページのノド側については、それぞれ **約 5mm が完全に隠れます** のでご注意ください。
- ページ数や紙の厚さ、サイズなど、本の仕様によっても本の開き具合が異なります。



適切な余白があると読みやすくなります